

2012年夏、絢爛豪華な
障壁画が東京に!

二条城展



2012年
7月28日(土)~9月23日(日)

江戸東京博物館 1階展示室

開館時間:午前9時30分~午後5時30分、土曜は午後7時30分まで(入館は閉館の30分前まで)
休館日:毎週月曜日。ただし、8月13日、9月10日、17日は開館

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、
京都市、読売新聞社、博報堂DYメディアパートナーズ

協賛:光村印刷 映像協力:凸版印刷

公式HP <http://nijo-castle2012.jp>



上:二条城 二の丸御殿 大広間 四の間 松鷹図(部分)<重要文化財>/下:二条城 二の丸御殿 遠侍 二の間 竹林群虎図(部分)<重要文化財>



天下を治めること。それは京都を治めることなくして果たせないことでした。徳川家康が慶長8年に築き上げた二条城は、戦のための拠点ではなく、朝廷を敬いつつ掌握するという、幕府が持つ力を目に見えるものにする場所でもありました。三代將軍家光が、後水尾天皇を迎えた壮大なイベント「二条城行幸」。寛永3年の実施に向け、城は現在の大きさに拡張され、室内を飾る障壁画も、狩野探幽をはじめとする絵師たちによって新たに描かれました。約400年の時を超え、その姿はほぼそのままのかたちで、私たちに伝えられています。

幕府の幕開けを告げた空間は、奇しくも終焉の場所にもなりました。最後の將軍慶喜は、この城で大政奉還の決意を発表したのです。

歴史の転換期を見守り続けた京の城、二条城。現在、二の丸御殿は国宝に、また22棟の建物が重要文化財に、あわせて二の丸御殿障壁画1016面も重要文化財に指定されており、加えて「古都京都の文化財」として、世界遺産にも登録されています。本展では、「松鷹図」に代表される二の丸御殿障壁画はもとより、絢爛豪華な二条城とその歴史を、絵画、彫刻をはじめ、さまざまな歴史資料によって体感していただきます。

慶長8年 1603年
江戸幕府開府。
徳川家康、
京に二条城築城。



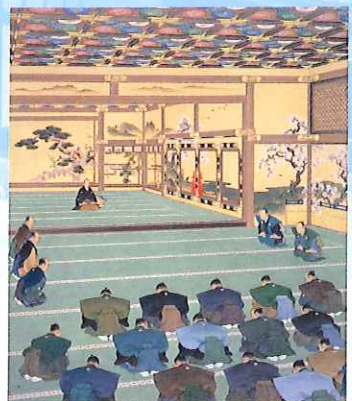
元和6年 1620年
「江」の娘和子、
二条城より
御所へ入内。

寛永3年 1626年
後水尾天皇の
行幸に向けて
拡張工事完成。



慶応3年 1867年
徳川慶喜、
大政奉還
発表。

明治17年 1884年
皇室の離宮となる。



平成6年 1994年
世界遺産に
登録。

1. 二条城 二の丸御殿 大広間 四の間 松鷹図 <重要文化財> / 2. 東照大権現霊夢像(部分) 公益財団法人徳川記念財団蔵 / 3. 洛中洛外図(左隻、部分) 富山・勝興寺蔵 <重要文化財> / 4. 東福門院和子像 京都・光雲寺蔵 / 5. 東福門院入内図屏風(右隻) 三井記念美術館蔵 <重要文化財> / 6. 朝田丹慶筆 大政奉還 下図 明治神宮蔵 / 背景、二条城 二の丸御殿

観覧料(税込)	特別展専用券	常設展・特別展共通券	特別展前売券
一般	1,300円(1,040円)	1,520円(1,210円)	1,100円
大学生・専門学校生	1,040円(830円)	1,210円(960円)	840円
中学生(部外)・高校生・65歳以上	650円(520円)	760円(600円)	450円
中学生(部内)・小学生	650円(520円)	なし	450円

前売券は2012年4月中旬より、江戸東京博物館、主要フリーガイドなどで発売予定
※()内は20名以上の団体料金。※共通券は江戸東京博物館のみで販売いたします。※小学生と部内に在住・在学の中学生は、常設展観覧料が無料なので、共通券はありません。※次の場合は観覧料が無料です。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。
交通: JR総武線 両国駅西口徒歩3分 / 都営地下鉄 大江戸線 両国(江戸東京博物館前)駅A4出口徒歩1分 / 都バス 錦27-両28・門33・里38系統「都営両国駅前」下車徒歩3分

